

## 元禄 15 年の豊岡城下図を読み解く旅

### 豊岡城下図の上を歩けるサイト

まずはこのQRコードから、古地図と現在の地図を見比べながら歩けるサイトへアクセスしてください。



この画面から直接アクセスする場合は[こちら](#)

### 元禄 15 年豊岡城下図について



この古地図は、元禄 15 年(1702 年)に作成された豊岡城下図の写しとされています。絵図に(元禄十五年壬年二月日)と記されていて、元禄 15 年に作図したことが確かなものです。

豊岡城下町は、羽柴(豊臣)秀吉の配下であった宮部善祥房継潤(みやべぜんしょうぼうけいじゅん)が、天正 8 年(1580 年)に豊岡城に配され城下町を整えていったというのが始まりです。

寛文 8 年(1658 年)、移封(いほう)(諸大名を領地へ移すこと)されてきた京極氏によって城下町が編成されました。この絵図には、元禄期の京極豊岡藩の完成された城下町全体の様子が描かれています。

円山川を外堀とし、領主や武士が居住する城の中核部は内堀によって固められていました。その範囲は東西 800m、南北 480m の広大なもので、出石城の 2 倍以上もありました。内堀の外側には城下町が広がっていて、そこには寺町があり、商人、町人など庶民の居住区が広がっていました。

編集 : 豊岡まち塾  
古地図提供 : 豊岡市立歴史博物館